

1 単元 こんなにすてき！わたしたちのまち ～つながる 広がる わたしの 生活～

2 指導の立場

<子どもの実態から>

子どもは、生活科の内容「(3)地域と生活」や「(4)公共物や公共施設の利用」を中心に取扱う2年生の単元において、地域の場所を訪問し、実際に利用したり地域の方と関わったりする活動を経験している。そこでは、地域には様々な場所があり、自分たちの生活を支えたり楽しくしたりしていることに気付き、それらに親しみをもち適切に利用しようとすることができた。しかし、地域で生活したり働いたりしている人々と自分との関わりに意識を向け、身近な人々へ地域のよさを伝えようとするまでには至っていない。

そこで、単元を構想するにあたっては、次のような題材を設定する。

<題材について>

本題材は、自分たちの生活は様々な場所だけではなく、地域で生活したり働いたりしている人々とも関わっていることが分かる題材である。また、相手を想像しながら伝え方を工夫することで、身近な人々と関わることのよさや楽しさも分かることが期待される。ここでは、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々、伝える身近な人々と自分とのつながりに気付き、実生活における地域や身近な人々と自分との関わりを広げようとするを大切にしたい。

そこで、指導にあたっては、次の点に留意する。

<指導上の留意点>

- 第一次では、地域の場所やそのよさを知らない身近な人々の存在に気付く場を設定する。そうすることで、地域について知っていることを「伝えたい」、自分たちも知らないことは「もっと知りたい」という思いや願いをもつことができるようにする。
- 第二次では、表現方法による伝え方の違いを検討する場を設定する。そうすることで、自分の伝えたいことをどうすれば効果的に伝えられるのか、自分で選択・決定できるようにする。
- 第三次では、これまでの活動を通して、地域と自分の生活がどのようにつながっているかを話し合い、そのつながりを絵や言葉で表現させる。そうすることで、地域や身近な人々と自分とが、実生活においてもつながっていることに気付き、今後の自分がさらにそれらとの関わりを広げていく姿を思い描くことができるようにする。

3 目標

地域に関わりその様子を身近な人々に伝える活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えたり、相手のことを想像して伝えることや伝え方を選択したりすることができ、地域と自分との関わりやそれらを支えている人々の存在、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、地域への親しみや愛着をもち、進んで触れ合い交流しようとする。

4 well-beingにつながる学びについて

本学園では、well-beingを「個人だけでなく、社会や地球環境まで含めた全体的に良好な状態」と捉えている。well-beingの実現には、教科等の本質に迫る授業で身に付けた資質・能力を、人生において自在に発揮できる子どもを育成することが必要不可欠である。そのためには、エージェンシー（変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力）の育成及び発揮が重要な課題であると考えている。

本学園の生活部では、対象と自分との関わりに気づき、生活を豊かにする子どもを育成する授業が、教科の本質に迫る授業だと捉えている。また、エージェンシーを発揮している姿を、思いや願いの実現に向けて、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし自ら働きかける姿だと捉えている。本単元においては、地域について知らないことをさらに詳しく知ろうとする思いの下、活動と表現を繰り返す過程で地域についての気づきを深め、伝える内容や方法に意思をもって選択・決定する場を設定する。子どもが、地域について身近な人々へ伝えたいという思いや願いをもち、どうすれば自分の思いが相手に伝わるかを話し合う様相がエージェンシーを発揮した姿だと考えている。

このような学習を経験した子どもは、地域のよさや身近な人々と関わる楽しさ、伝えることのできた自分の成長に気づき、地域への愛着をもち、進んで他者と関わろうとするようになり、well-beingの実現につながるだろう。

5 指導と評価の計画（総時数 12時間）※評価規準は〈メモ〉に記載

次	学習活動・学習内容	エージェンシーを発揮するための手立て	評価規準	評価方法
一 ② （本時 2 ／ 2）	○ これまでに訪問した施設や店は、どのような場所かを振り返る ・ 町探検や施設見学で分かった情報 ● 施設の利用方法や店のよさなど、さらに詳しく知りたいことを考える ・ 詳しく知りたい内容	・ 訪問した施設や店の様子の交流による、地域への親しみや思いを想起させる表現活動 ・ 施設や店のよさについて知らない内容があることに気付かせる発問	知① 思① 態①	・ 行動観察や発言 ・ 行動観察や発言、ワークシートの分析
二 ⑧	○ 分かっていることを整理し、知りたい情報を収集する ・ 地域についてさらに知りたい情報 ・ 調べる手段や尋ね方 ○ 地域について調べ、さらに分かったことを整理する ・ 地域についてさらに分かった情報 ・ 各グループが調べた地域の情報 ○ 地域について伝えたい人にどんな思いになってほしいかを話し合い、地域について伝える内容や方法を選択する ・ 伝える対象の立場 ・ 対象へ伝える内容や方法 ○ 伝えるための表現方法を決定し、表現活動を行う ・ 表現方法 ・ 目的による伝え方の違い	・ 自分が知っている伝えたいことと、もっと知りたいことの整理 ・ 伝える内容についての中間発表と、グループでの質問や感想の伝え合い ・ 伝えたい身近な人々や、その人の立場によって伝えるべき情報の検討と表現活動 ・ 表現方法とその効果、相応しい伝え方の検討	知② 思② 思② 態② 知③ 思③ 態③	・ 情報収集活動の観察、発言の分析 ・ 交流活動の観察や発言の分析 ・ 行動観察や発言 ・ 表現活動の観察、表現過程の分析
三 ②	○ 自分の調べた地域について、身近な人々に伝える ・ 地域についてグループで調べたこと ・ 身近な人々に伝える楽しさ ○ 地域や身近な人々と自分の実生活とを関連付け、今後自分がどのように関わっていきたいかを話し合う ・ 地域や身近な人々と自分とのつながり ・ 地域や身近な人々と自分との関係の広がり ・ 地域や身近な人々に対する自分の思い	・ 身近な人々へ伝えた後の反応を知り、自分の成長を実感できる機会 ・ 地域と自分の生活とのつながりや、今後の実生活の広がりについて考える表現活動・伝え合い	思④ 知④ 態④	・ 行動観察、表現活動の分析 ・ 行動観察や発言、ワークシートの分析

6 本時案 —第一次・2時分—

- (1) 主眼 訪問した施設や店について知っていることやもっと知りたいことについて整理する活動を通して、今後どのように活動を進めるかを見通し、地域のことをさらに詳しく知ろうとする思いや願いをもつことができる。
- (2) 準備 町探検の写真，ワークシート
- (3) 学習の展開

学習活動・内容（発問）	予想される子どもの反応	指導上の留意点	分
<p>1 町探検へ行った経験について話し合い，学んだことを振り返る</p> <p>室積の町には，どんな素敵な場所があったか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室積にある施設や店 ・ 町探検や施設見学の分かったことやよさ 	<p>ア コミュニティーセンターには，七千冊もの本が置いてあっていいなと思ったよ</p> <p>イ 普賢寺に行ったときに，教えてもらった昔の伝説にはびっくりしたな</p> <p>ウ 町探検でいろいろな場所へ行ったけど，素敵などころがいっぱいあったね</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問の様子が分かる写真を提示したり，ワークシートや表現物を見て振り返ったりすることで，施設見学で学んだことや楽しかった思い出を想起できるようにする 	10
<p>2 訪問した施設や店について，疑問や分からないことを話し合う</p> <p>室積の素敵な場所で，疑問や分からないことは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設や店に対する新たな疑問 ・ 地域について知らないことの自覚 	<p>ア コミュニティーセンターは生け花教室をしているのを見たことがあるけど，他にはどんなことをしているのかな</p> <p>イ 普賢まつりには大勢の人が来るようになったと言っていたけど，一体何人来ているのだろうね</p> <p>ウ 室積の町について，まだ知らないことがたくさんありそうだよ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設や店についての子供が知らない情報を提示したり，疑問に思っていることを見比べられるように板書に整理したりすることで，自分が知らないことを明確にしたり，新たな疑問を見付けたりできるようにする 	35
<p>室積の素敵な場所について，誰がどんなことを知っていると思うか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詳しく知りたい内容について知っている人 	<p>ア コミュニティーセンターで働いている人なら，どんなイベントがあるかを知っているかもしれないよ</p> <p>イ 普賢まつりについては，手伝いをしている人に聞いたら分かりそうだね</p> <p>ウ それぞれの場所について，詳しく知っている人がいそうだよ。もっと室積の素敵などころを教えてもらいたいな</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疑問に思ったことや詳しく知りたいことについて知っている人と施設や店をつないで板書に整理することで，地域の場所には，そこで生活したり働いたりしている人々が深く関わっているということ意識できるようにする 	35
<p>3 訪問した施設や店について，今後調べたいことを決定する</p> <p>室積の素敵な場所について，どんなことを聞いてみたいか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詳しく知りたい内容 ・ 尋ねたい相手 	<p>ア コミュニティーセンターのイベントについて，館長さんに聞きたいよ</p> <p>イ ぼくは，普賢まつりがどうやってできるのか，詳しく知りたいな</p> <p>ウ ほかに，室積の町にはまだ知らないことがたくさんありそうだね</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詳しく知りたい内容は，誰が知っているのかを話し合わせることで，地域にいる人々を意識し，これからの活動でさらに詳しく調べようとする思いや願いがもてるようにする 	45

(4) 評価規準と方法

訪問した施設や店について知らないことやもっと知りたいことを整理する中で，地域のことをさらに詳しく知ろうとする思いや願いをもつことができたか，発言やワークシートの記述からみとる。

<メモ>

・単元の評価規準

単元の 評価規準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	地域に関わりその様子を身近に感じようとする		地域に関わりその様子を身近に感じようとする		地域に関わりその様子を身近に感じようとする	
小単元における評価規準	1	① これまで訪問した施設や店がどんな場所であるか分かっている	① 地域について伝えたい内容を整理し、今後どの活動を進めようとしている	① 地域について自分が進んで他者に伝えようとする意識をもち、積極的に伝えようとしている	① 地域について自分が進んで他者に伝えようとする意識をもち、積極的に伝えようとしている	① 地域について自分が進んで他者に伝えようとする意識をもち、積極的に伝えようとしている
	2	② 情報の収集の活用方法を考えることができる	② 地域について知っていることを整理し、見つけようとしている	② 知りたい情報を整理し、活用しようとしている	② 知りたい情報を整理し、活用しようとしている	② 知りたい情報を整理し、活用しようとしている
	3	③ 伝えたい内容に応じて、伝え方や表現方法が分かっている	③ 様々な表現方法を比べ、相手に伝えようとしている	③ 伝えたい内容に応じて、伝え方や表現方法が分かっている	③ 伝えたい内容に応じて、伝え方や表現方法が分かっている	③ 伝えたい内容に応じて、伝え方や表現方法が分かっている
	3	④ 地域や身近な人々の生活の様子や気付きや楽しさを分かっている	④ 表現物を作成する中で、自分の成長を支えてくれる人々の存在や、様々な人々の関わりを分かっている	④ 地域や身近な人々の生活の様子や気付きや楽しさを分かっている	④ 地域や身近な人々の生活の様子や気付きや楽しさを分かっている	④ 地域や身近な人々の生活の様子や気付きや楽しさを分かっている